所沢市民用

成人用肺炎球菌予防接種を受けるにあたっての説明書
～予防接種を受ける前に必ずお読みください～

接種前に、この説明書をお読みいただき、予防接種の有効性や副反応について、よく理解した上で接種するようにしましょう。

【肺炎球菌性肺炎感染症について】

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。日本人の約5～10%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が増殖し、下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

【接種の対象者】

① 接種時に満 65 歳の方
② 接種時に 60 歳以上 65 歳未満の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方（障害認定1級程度）

【使用するワクチンと接種方法】

沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）を用いて、1回筋肉内に接種します。

なお、令和8年度より、定期接種で用いるワクチンが 23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン（PPSV23）から、沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）に変更になりました。

【接種できない方】

① ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
② 明らかな発熱を呈している方
③ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
④ 予防接種を行うことが不適当な状態にある方

【接種に注意が必要な方】

① 免疫不全と診断されている方
② 近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
③ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
④ 予防接種を受けて2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
⑤ 過去に痙攣をおこしたことがある方
⑥ 沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の成分や、ジフテリアトキソイドに対してアレルギーを呈するおそれのある方
⑦ 血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている方

所沢市民用

【ワクチンの効果】

肺炎球菌には、100 種類以上の血清型があり、定期接種で使用される沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）は、そのうち 20 種類の血清型を対象としたワクチンであり、この 20 種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症（※）の原因の約5～6割を占めるという研究結果があります。

また、沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）は、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症全体の3～4割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

※侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

【ワクチンの安全性】

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー、痙攣（熱性痙攣含む）、血小板減少性紫斑病がみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

発現割合	主な副反応
30%以上	疼痛・圧痛*（59.6%）、筋肉痛（38.2%）、疲労（30.3%）
10%以上	頭痛（21.7%）、関節痛（11.6%）
1%以上	紅斑、腫脹

*ワクチンを接種した部位の症状

【他のワクチンとの同時接種・接種間隔】

医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、帯状疱疹ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

【接種を受けた後の注意点】

ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

【予防接種による健康被害救済制度について】

肺炎球菌ワクチン予防接種後に現れた体調の異変により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残ったりするなどの健康被害が生じ、その健康被害が予防接種によるものと認定された場合、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、保健センター健康管理課にご相談ください。